

第5回全国都市改善改革実践事例発表会「改善万博 2011inいわてきたかみ」

【主催】カイゼン万博 2011inいわてきたかみ実行委員会

【参加自治体】20自治体（添付資料のとおり）

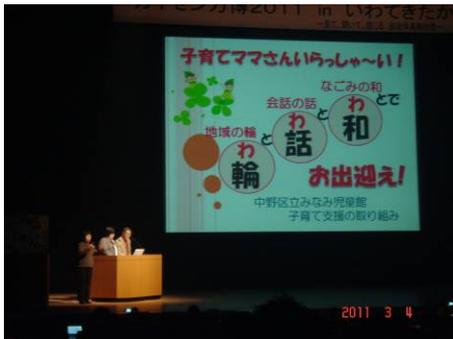
発表会会場前には、各自治体のPR資料を展示したパビリオンが設置されていました。



【来場者】約450名（岩手県内外の行政関係者、企業関係者、北上市民など）

北上市は職員に観覧のほか、「採用予定者」も招待されていました。

【発表】



【浜田市発表】会計課 業務見直し隊「手軽にエコ&効率化 課内回覧の電子決裁」



※ 浜田市の発表時の紹介で司会者から、石原審査委員長と親交のあった元浜田市職員の故光野良二氏を「スーパー職員」として紹介されました。

【審査員講評】 伊藤彬北上市長

「まず身近なところに目をつけたのは評価できる。小さなことでも良いという気持ちが、皆の意識を高める上で大事。パソコンは1人1台となって満足してはいけないし、ホームページも更に改善が必要。今回ベースができたので、これからも頑張ってください。」



【結果】「終わり(尾張)までスムーズで賞」(最終決裁者まで迅速確実に情報伝達できました。)受賞。

参加自治体が持ち寄った名産品を副賞として、全ての自治体が表彰されました。

浜田市は決裁までの流れと「尾張」をかけて、名古屋市の銘菓を副賞とした賞を受賞しました。なお、浜田市からは特産品として「赤てん」を持参し、福山市の「パーフェクトフォトで『整いました』！」に「百点満点パーフェクト賞」(パーフェクトフォトは赤点を食べ尽くします。)として贈られました。



【審査委員長講評】 石原俊彦 審査委員長

浜田市については内部改善の事例として評価され、全体としては女性の頑張りが目立った発表会と総括されました。

また、司会者が光野氏について紹介したことに「親友のことを言ってくれてありがとう」と述べられました。



【次回開催地】 大分県大分市に決定。